

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/04/03号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

リスクオンとイラク出荷トラブルで75ドル突破

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台中盤まで切り返す展開になった。米欧銀行の信用不安が一服し、投資家のリスク選好性が回復していることが好感されている。株価同様に原油相場も安値修正の目線が優勢になった。為替がドル安に振れたこと、イラク北部からトルコ向け原油輸出が停止したこともポジティブ材料視されている。また、米原油在庫が予想外の大幅な減少になったことも買い安心感を強めた。75ドルの節目を上抜き、3月13日以来の高値を更新した。

イラク北部からトルコのジェイハン港向けの原油輸出が停止した。イラク政府が国際仲裁裁判所で主張していた違法性が認められ、トルコ政府は受け入れ中止を決定した。日量45万バレル規模の原油供給に影響が生じている。当初は地下貯蔵施設に保管していたが、既に在庫貯蔵能力の限界に達しており、減産圧力が強まり始めている。イラク政府は、中央政府の管理下での原油輸出を目指しているが、1週間にわたる供給停止が原油相場の上昇を加速させた。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (3月24日時点) は、原油が前週比749万バレル減、ガソリンが290万バレル減、石油精製品が28万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

サウジなどの自主減産で急伸地合、5月以降の需給ひっ迫リスク

米欧銀行の信用不安問題が一応の終息を見せており、投資環境の改善が原油相場も押し上げる見通し。3月中旬は専らリスクオフの一点で急落していたが、それに対する反動高局面になる。特にイラクの出荷障害が続き、米原油やガソリン在庫の取り崩しが続くと、地合が引き締まり易い。また、4月2日にはサウジアラビアなどが年末まで合計で日量114.9万バレルの自主減産を実施すると発表しており、一気に80ドル突破から85ドル水準を試す可能性も急浮上している。

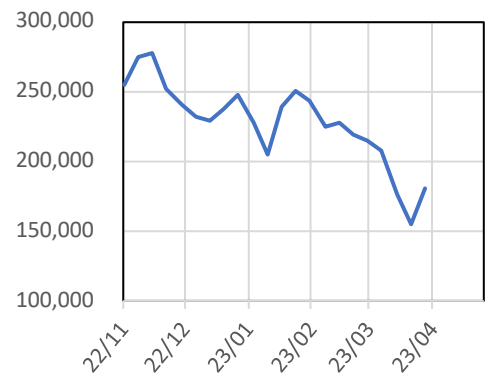
4月3日に石油輸出国機構（OPEC）プラスの共同閣僚監視委員会が開催されるが、特段の政策調整は行われない見通し。ただ、それに先立ってサウジアラビアなどが大規模自主減産を発表したことで、4～6月期の国際原油需給が供給不足化する可能性が高まったことはポジティブ。

一方、イラク北部からの原油輸出環境については不透明感が強い。このまま輸出停止が続くと、期近限月を中心にリスクプレミアム加算が求められ易くなる。一方、出荷再開の報が伝わると、瞬間的に70ドル台中盤まで急落する可能性を抱えている。

米製油所稼働率が上昇傾向にあることはポジティブ。春の定期メンテナンスがピークを過ぎており、製油所向け原油需要の回復が進むと、原油相場の地合は引き締まり易くなる。また、末端のガソリン消費量も伸び始めているため、ガソリン在庫が7週連続の減少になった際にも、買い安心感が強まる。

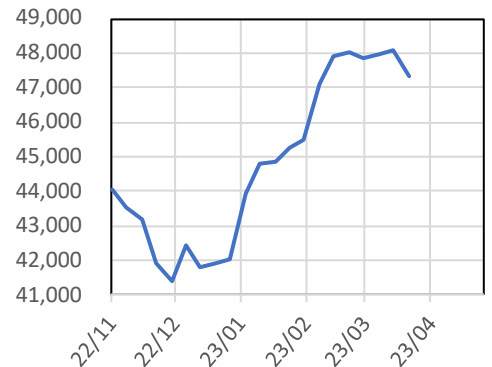
月初とあって7日の3月雇用統計を筆頭に重要経済指標が発表される。ここで景気減速懸念の高まり、利上げ警戒感の蒸し返しといった動きがみられると、調整リスクが高まる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



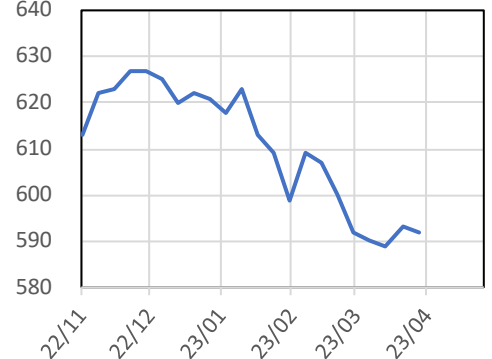
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

